

平成29年第4回

山都町議会定例会

提案理由説明書

平成29年12月7日

平成29年第4回定例会を招集しましたところ、ご参集賜りありがとうございます。

町として、当面の諸課題、並びに本議会に提案いたします議案についてご説明申し上げます。

はじめに、議員各位におかれましては、先の町議会議員選挙におきまして、町民の皆様からの大きな期待と多くの支持を受けられ、見事当選されましたことに対し、改めてお祝いとお参集のお礼を申し上げます。

これからの4年間、新しい山都町づくりと町の課題解決に向け、議会、執行部で議論を尽くしながら、車の両輪として適度な緊張感を持ちつつ、共に進んでいきたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。

また、この度、新たに、工藤議長並びに藤澤副議長がそれぞれご就任されましたことに対し、心よりお祝いを申し上げます。

新議長、副議長には、その豊かな経験と手腕をいかんなく発揮されまして、山都町政の発展にご尽力をいただきますことをご祈念申し上げます。

町議選と同日に執行されました衆議院総選挙におきまして、選挙区の区割り変更に伴い、本町は、従来の3区と4区の二つの選挙区から3区一つに合区（ごうく）された初の国政選挙となりました。

当選された本県選出議員に対しましては、本町への一層のご支援とご配慮をお願いするものです。

また、選挙後成立した第4次安倍内閣においては、アベノミクス経済戦略による経済効果の地方への波及や、東京一極集中の流れが変わらない中、地方の急激な少子高齢化への対応など、地方が抱える課題について、真摯に対応していただくことを願うものです。

さて、ご承知のとおり、今月8日から「日米共同訓練」が大矢野原演習場で実施されます。

今回の訓練は、従来の共同訓練に加え、沖縄の基地負担軽減の一環として実施されるものですが、米海兵隊と共にオスプレイ4機が投入される訓練で、夜間訓練の実施も予定されています。

訓練に先立ち、県及び関係市町村長連名の要望書を携えて、福岡の九州防衛局に申し入れに出向きました。訓練実施公表の遅れとともに、オスプレイ事故の頻発や米海兵隊員の飲酒運転死亡事故の発生など、住民の安全を守る観点からも大きな懸念を抱いており、事件・事故無く訓練が終わるよう強く国に申し入れを行いました。県など関係機関と連携しつつ、町としては、訓練期間中職員を待機させ、不測の事態に備えるなど、できる限りの対応を図ります。

次に、災害復旧の状況であります。公共土木施設及び農地・農業施設災害復旧につきましては、建設業者の皆様にご尽力いただいておりますが、入札不調など、事業完了に向けて依然として厳しい状況にあります。今後も事業進捗に最大限の努力を続けてまいります。皆様のご理解とご協力を重ねてお願いいたします。

農業関係では、刈り入れの時期に各地区で開催された収穫祭に参加してきました。水稻作況指数は「やや良」との発表があっていたものの収穫時期の2つの台風が長雨を引き連れ、農家の皆さんにはご苦勞があったものと思っております。

また、先月12日、県有機農業収穫祭において、県内で初となる「くまもとグリーン農業推進宣言」をいたしました。来る東京オリンピック開催の2020年までに、生産宣言・応援宣言あわせて2,020件を目指すこととしております。

また、関係の皆様が長らく待ち望まれておりました鳥獣処理加工施設が、10月から稼働を始めました。今後の課題として、獣肉加工処理者の養成や衛生管理の徹底、また、販路の確保に向けた積極的な営業活動の展開、加工ノウハウの蓄積を図る必要があります。深刻化する鳥獣被害防止対策と併せて、町の新たな資源として活用を図っていきたいと考えております。

商工観光関係では、先月10日、熊本県庁において、県、山都町、「株式会社MARUKU（まるく）」において、企業立地の調印式を執り行いました。この会社は、7月に山都町で起業されており、今後、WEB動画やシステム開発など、ICT関連の事業を展開される計画です。

来年4月には、町内全域に光ファイバーの敷設が完了しますが、その活用の端緒ともいえる民間企業に進出していただいたことは、地域経済活性化や雇用促進の面からも大いに期待をしているところです。

今回の企業立地は、情報化対応のひとつの成果であります。町としても、現在、地域情報化推進計画の取り纏めを行っており、ICTを活用した町の課題解決の方策を検討していきたいと考えております。

秋は、山都町の観光シーズンであります。

阿蘇大川神社での「薪文楽」は、雨天のため残念ながら文楽館での公演となりましたが、清和中学校の生徒による清和文楽所作踊りも披露され、満場のお客様からは万雷の拍手が送られました。

また、各地で「紅葉祭り」や「秋祭り」が開催され、すっかり定着した、蘇陽地区での「蘇ジョレ・ヌーボとあか牛まつり」や道の駅でのイベントも開催され盛況を博しました。

先月17日には、山都警察署と全国安全環境ネットワーク協会と連携協定を締結しました。地域住民の安全・安心の確保に資するものと期待しております。

また、同じく17日に「全国石橋サミット in くまもと」が清和文楽館を主会場に開催されました。

パネルディスカッションには、地元から地域づくりや石橋構築技術の伝承に尽力されている方々が参加された他、矢部高校生による通潤橋木工品の紹介や「石橋サミット」宣言の読み上げなど活躍いただきました。

石橋をはじめとする石造構築物が、近代の土木技術をしのぐ耐久性や建造美を持ち、地域の「宝」として大変価値が高いものであることが熱く語られました。

姜尚中 熊本県立劇場館長の講演では、文化と景観が地方にとって大切なこと、そして外部からの支援や知恵が大きな力となると話されました。

通潤橋復旧も、順調に進んでおります。解明された技術の継承とともに、本町の重要な観光資源として一日も早い復旧を願うものです。

体育館の建設候補地については、先般、体育館整備推進委員会委員長より、4つの候補地の評価について答申をいただいたところです。今後、体育館の規模、防災機能の付設など整備条件に合わせた用地の検討に入っていきたいと思っております。

下馬尾地区の若者向け住宅地分譲については、今年度中に詳細な区画設計を行い、来年度に造成及び道路付替や水道管付設替などを行うこととしておりますが、できるだけ早い時期に分譲を開始したいと考えております。

次に、今定例会に提案しております議案についてご説明いたします。

今回の定例会に提出する議案は、条例7件、補正予算5件、その他5件です。

議案第65号、訴えの提起については、町が所有する土地・建物の賃料を長期にわたり滞納する賃借人に対し、滞納賃料の支払を求めるとともに、本件土地・建物の明渡しを求めるものです。

議案第66号は、企業立地の促進等による地域における産業集積の形成及び活性化に関する法律第10条第1項の規定に基づく準則を定める条例の廃止を行うものです。

議案第67号は、地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律の施行に伴い、山都町営住宅条例及び山都町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正を行うものです。

議案第68号の山都町火葬場条例の一部改正については、火葬場の地域外住民に係る使用料の改定を行うため、所要の改正を行うものです。

議案第69号は、人事院勧告に伴い、山都町一般職の職員の給与に関する条例について、議案第70号は、人事院規則の改正に伴い、山都町職員の育児休業等に関する条例について、それぞれ所要の改正を行うものです。

議案第71号は、山都町行政機構の改革に伴い、関係条例の整理を行うものです。

議案第72号は、平成28年熊本地震復興基金の交付金を原資として新たに基金を設置するものです。

議案第73号は、平成29年度山都町一般会計補正予算第4号です。

9月に発生した台風により被災した町道、林道及び農地等の復旧に係る経費を中心に、8億9,300万円の増額補正を行い、補正後の額を159億9,600万円とする予算を編成しました。

議案第74号の平成29年度国民健康保険特別会計補正予算第1号は、国保運営の県移行化に伴うシステム改修費と前年度繰越金の精算を行うもので、議案第75号の平成29年度介護保険特別会計補正予算第2号は、介護保険制度見直しに伴うシステム改修費を追加するもので、議案第76号の平成29年度簡易水道特別会計補正予算第3号は、給与改定に伴う影響額を追加するものです。

次の議案第77号の平成29年度病院事業会計補正予算第1号は機器購入経費を追加するものです。

議案題78号及び議案第79号の2議案は、工事請負契約の締結に係るものです。

議案第80号の町有財産の無償譲渡については、養護老人ホーム浜美荘を来年度から社会福祉法人へ移管することに伴い、建物や備品を移管先法人へ無償譲渡することに係るものです。

諮問第2号の人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについては、人権擁護委員7名のうち1名が、本年末日をもって任期満了となりますので、委員の候補者について推薦し、諮問を行うものです。

以上、提案理由について説明いたしました。

詳細については、担当課長から説明させていただきますので、適切な決定をいただきますようお願いいたします。